

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年2月24日第217号－

<目次>

● 羽田新飛行ルート下の市民は今

◆ 川崎市が進める公共施設の統廃合計画

★ お知らせコーナー

① 2/26 川崎市議会代表質問/自民党：みらい

② 2/27 同/公明党・共産党・川崎維新

③ 2/28 ゆめシネマ「マヤ一天の心、地の心一」

④ 3/14 かわさき市民アカデミー 2025年度SDGs講演会・緑地と文化

⑤ 3/15 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会&デモ

★ 編集後記

● 2月12日市民要求実現アクションでの橘孝さんのスピーチ

そもそも航空の常識として、飛行機は海から入って海に出る。

これが当たり前だったはずです。

加えてコンビナート上空を飛ぶなんていうのは、世界で全くありえないことです。

万が一の事故が起きれば大惨事に陥る。

そんなことは誰でもわかることです。

ですから、1970年に、この川崎市が当時の金刺市長を先頭に、全ての会派が一致して、当時の国の通産省に対して、コンビナート上空の飛行の中止の要望を川崎市が出した。

そして、国がそうだとすることで、通知を出した。

これは今でも公文書として生きている。

でも、6年前に、この川崎の福田市長が議会にも諮らず、住民にも何の説明もなく、「飛んでいいですよ」と言っちゃったものだから、国はもう大歓迎で、「この飛行は市が約束をした、公に認められた」ということになり、もう頻繁に飛んでいます。

南風のある日は、1年の半分ぐらい。そんな日の午後、約3、4時間飛んでいる。

でも、今は朝から飛んでいます。もう時間制限は関係なく、どんどん飛んでいる。
その被害を私たち市民が受けているのです。

今日は、被害を受けている一人の方の声を紹介します。視覚障害者の方が、この飛行ルート直下に住んでいる。そこでどういう被害をうけているか、このことをなんとしてもお伝えしたい。

かなりの重低音でエンジンの音が響き、家がジリジリと振動します。
ドンドンという和太鼓を叩くような音がして通り過ぎていきます。

すごい音だけでも恐怖を感じます。
パソコンの音声が聞こえなくなります。ラジオの音も聞き取れません。

音を頼りに生きているので、この飛行ルートは害があります。飛ばさないでください。

こういう声です。
加えて、この方は、飛行機が上空を飛ぶときに、自分が立っても方向が分からなくなる。

東はどっちなのか、西はどっちなのか、全く分からなくなるそうです。
ですから、部屋やトイレの中で頭をぶつける、こういう生活を余儀なくされています。

年間で約半分、180日近くこういう生活を余儀なくされているのです。
私も近くに住んでいますが、本当にうるさい。あぶない。

そして、精神的にまいってしまう。本当にメンタルがやられちゃいます。
こういうことを私はみなさんにお伝えしたかったのです。

さらには、コンビナートには東芝の原子力実験炉があります。
ここでは放射能もでているし、核廃棄物もある。この上空を飛んでいるのです。

このことを、12月市議会で後藤議員（共産党）が代表質問と一般質問で市を糺してくれました。

しかし、本当にまっとうなことを言っても、川崎市は「それは国が決めたことで国の責任でやっていることだから」と回答はしない。川崎市はだめですね。

毎回決まり文句です。

こんなむなししいことは市民にとってありません。

本当に馬鹿にされている。不公平そのものだと私は思います。

橋孝

◆ 川崎市が進める公共施設の統廃合計画

川崎市は、2月に、「資産マネジメント第3期実施方針（2022年度～2031年度）」に基づき、モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針を新たに公表しました。

「資産マネジメント第3期実施方針」では、全市を、2から4程度の中学校区を合わせた単位を基本とした「仮地域」を19に設定し、そのうち、資産保有の最適化を最優先して進める「4つのモデル地域」を選定しました。

4モデル地域は、麻生区、高津区、幸区、川崎区の複数中学校区ですが、なかでも、高津区の公共施設の統廃合が大きな問題になっています。

<「すくらむ21」と「てくのかわさき」の統廃合問題>

川崎市の最新の方針では、以下の方向で検討が進められています。

・「てくのかわさき」の機能を「すくらむ21」側へ統合し、複合施設として整備する案が浮上しています。

・「すくらむ21」を建て替える際、現在の500席から「1,000席級の大ホール」へと拡充し、川崎市中部エリア（中原区・高津区・宮前区など）の文化拠点とする構想があります。

・駅から近い「てくのかわさき」跡地の有効活用として、民間活用も含めた高層化や、より利便性の高い施設への転換など、土地の高度利用を図る方針です。

<市民の声を無視した統廃合方針>

しかし、「てくのかわさき」は、技能者育成の拠点で、技能職者の育成、製造業の振興、実習室や会議室、中規模のホールがあります。

一方、「すくらむ21」は男女共同参画の拠点であり、男女共同参画社会の推進、女性の就

労支援を担い、約 500 席のホールがあります。

統廃合では、これらの専門的な機能や、市民の多様な参加が圧迫されるのは明らかです。物理的な「場所」の減少は明らかです。

どんなに効率化しても、同時刻に利用できる団体数が物理的に減ることになります。予約の集中も心配です。

今でも予約が難しいのに、さらに予約が取りにくくなることも予想できます。

<市民プラザが 10 年間使用中止？>

市民プラザは、「老朽化のため一度機能を整理して作り直した方が、将来的なコストを抑えられ、市民サービスも向上する」という川崎市の方針が明らかになりました。そして、再整備工事のため、2026 年度（令和 8 年度）以降、数年間にわたる全館長期休館が予定されています。

市民プラザの年間利用者数は、延べ 24 万 1 千人です。長期間にわたって、会議室やホール、プールが一切使えなくなります。

その間、利用者は、移動にかなり距離がある「高津市民館」や「中原市民館」を利用するしかなく、代替施設が不十分です。周辺施設の予約倍率はさらに跳ね上がり、定期的に利用しているサークルなどの継続は困難になるでしょう。

新しくなった際、維持管理コストを下げるために全体の床面積が削られる可能性があります。「前より狭くなった」「使い勝手が変わった」となるのは明らかです。また、「屋内プール」については存続が危ぶまれています。

市は「100 年先を見据えた持続可能なまちづくり」と言いますが、ここで長年サークル活動やスポーツを楽しんでいる市民にとっては、「数年間の空白」や「慣れ親しんだ場所の変貌」は生活の質の低下そのもので、容認できません。

今、利用者が中心になり、川崎市の一方的な進め方ストップの請願署名が大きく広がっています。

川崎市の公共施設統廃合の方針を市民の力で変更させることができるか、注目です。(H)

★ お知らせコーナー

① 川崎市議会代表質問 1 日目

2/26 (木)

午前：自民党

午後：みらい

② 川崎市議会代表質問 2 日目

2/27 (金)

午前：公明党

午後：共産党、川崎維新

※傍聴希望者は、市役所 22 階の議会局で手続きをしてください。

入退出は自由です。

③ ゆめシネマ「マヤー天の心、地の心ー」

2/28(土)①9時 ②12時 ③15時

かわさきゆめホール

申込：044-433-3003(ゆめホール)

cinema@kawasakiyume.com

[詳しくはこちら](#)

[予告動画](#)

④ かわさき市民アカデミー 2025 年度 SDGs 講演会・緑地と文化

～夢を旅する ニューヨーク、ボストン、中国、ブータン、そして川崎へ

(公財)東京応化科学技術振興財団助成事業

3/14日(土) 13時30分～16時30分

第1部 講演 講師：石川幹子先生（東京大学名誉教授・国際文化的景観科学者委員会日本代表）

第2部 参加者とともに考える

参加費 無料

[詳細と申込み](#)

⑤ 原発ゼロへのカウントダウン in 川崎 集会&デモ

3/15(日)12 時開場

3 時 文化行事

14 時 メイン集会

15 時半 デモ行進

会場は、中原平和公園

参加は無料

連絡先 川崎合同法律事務所 三嶋健 044-211-0121

[詳しくはこちら](#)

★編集後記

高市氏が選挙戦を圧倒的な支持で勝ち抜いた裏には巧妙なスマイル戦略がありました。私などはあの笑顔を見ると心が凍り付くような思いがするのですが多くの国民は違うよう。

高市スマイルについて Ai と考えました。

「高市スマイル」には、単なる親しみやすさを超えた高度な政治・広報戦略が組み込まれています。

その戦略性の核心は、以下の 3 点に集約されます。

1. 「強硬・右派」イメージの中和
2. 男性リーダーとの差別化（女性初の首相としての演出）
3. SNS 時代のビジュアル戦略

ナチスの情報戦を主導したゲッペルスの話は有名ですが、高市氏の情報参謀は、佐伯耕三（内閣広報官） 鈴木貴子氏（自民広報本部長）、山本拓氏（夫）の名が上がりますが、AI の果たした役割も重要です。

AI が政治コミュニケーションに与える主な影響を AI に分析してもらいました。

1. 「国民の感情」をリアルタイムで可視化する

AI は SNS やニュースコメントなど膨大なデータから、

・怒り ・不安 ・期待 ・共感
といった感情の流れを瞬時に読み取れます。

これにより政治家は、

「どの言葉が刺さるか」

「どの表情が安心感を与えるか」

「どの政策が反発を招くか」

を事前に把握し、発信内容を最適化できるようになります。

政治コミュニケーションが“勘と経験”から“データと分析”に移行する大きな転換点です。

2. 表情・声・話し方まで最適化される

AI は、候補者の

- ・笑顔の角度
- ・声の高さ
- ・話すスピード
- ・ジェスチャー

などを解析し、「最も信頼されるパターン」を導き出すことができます。

これは政治家の“キャラクター設計”に近く、

「どう見えるか」まで科学的に調整される時代 に入ったと言えます。

3. メッセージが“個別最適化”される

従来の政治は「大勢に向けた一つのメッセージ」でしたが、AI は違います。

AI は、

- ・若者には短い動画 ・高齢者には丁寧な説明
- ・都市部には経済政策 ・地方には生活支援

といった形で、受け手ごとに内容を変えたメッセージを自動生成できます。

政治コミュニケーションが「一対多数」から「一対一」に近づくのです。

4. 政治家の“弱点”を補うツールになる AI は、

- ・言い間違いの修正
- ・政策説明の補助

- ・資料作成
- ・質疑応答の想定

などを支援し、政治家の能力差を縮める方向に働きます。

結果として、

「広報力の強い政治家がさらに強くなる」

という現象も起きやすくなります。

5. 政治の“演出化”が進むリスク

AI は非常に強力なツールですが、同時に次のような懸念もあります。

- ・メッセージが過度に最適化され、政治が“商品マーケティング化”する
- ・本音よりも「好感度の高い表情」が優先される
- ・国民が“演出された政治”に慣れ、実質的な政策議論が薄れる

つまり、AI は政治を「より洗練されたショー」に変えてしまう可能性もあるわけです。

まとめ：AI は政治をどう変えるのか

AI は政治コミュニケーションを

①感情分析 → ②表情最適化 → ③個別最適化 → ④弱点補強 → ⑤演出化
という流れで大きく変えつつあります。

これは単なる技術革新ではなく、
政治のあり方そのものを変える構造変化です。

AI は誰でも使えます。

AI に頼るばかりでは駄目ですが、AI を使いこなすことも大事。

でも、AI がこんなことも言っています。
高市政権への対抗軸としてどう戦うかについて。

AI には出せない「熱」：AI が導き出した「最大公約数の笑顔」に対し、「一人のための憤り」を表現。
演説での「怒り」を、単なる批判ではなく「国民を守るための情熱」としてリブランディング。

やっぱり、私たちはどこまでも泥臭く、手作りの暖かさを失うな。ということらしい。

(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆